

元気な東京の社長さんを応援する情報誌

ティー・ジー・プレス

Tokyo
Guarantee
Press

T.G. Press

Vol. **43**
Spring

特集

次の時代にも評価される
たしかかな伝統技術



写真/清水亮一

02 **スペシャリストの視点**
株式会社二宮五郎商店
二宮 眞一氏

05 嘶家直伝! ビジネスに活かす「落語力」
毎日の仕事に効く! 心を整えるマインドフルネス
これは助かる! 東京おみやげセレクション

06 **T.G. Focus**
株式会社ひかりてらす
山田 裕介氏

08 **T.G. Information**
東京信用保証協会の専門家派遣



TOKYO
GUARANTEE

東京信用保証協会

熟練の技で生み出す最高の使い心地と 次の時代を見つめたものづくりを追求



[第15回]
**スペシャリスト
の視点**
● Specialist's viewpoint ●

二宮 眞一(にのみや・しんいち)
1951年、東京浅草生まれ。父は革の加工業、母の実家は飲食店を営み、双方を手伝うべく高校卒業後から家業に入る。1996年、二宮五郎商店の代表取締役就任。財布や名刺入れなど幅広い製品を手がける方向にかじりこみ、100を超える製品を世に送り出してきた。

革の目利きは二宮さん自ら行う。規格品はほぼ使用せず、製品それぞれのデザイン、用途などに最適なものを調達するという。「現状に妥協せず、常に上質なものを求めてきましたし、これからも上を目指し続けます」

「風琴マチとは、折り紙の技法から生まれた日本独自の加工です。財布の札入れなどには、お札を収納するマチ(遊び)が設けてあります。このマチの部分のほとんどは内側に折れ曲がっていますが、それがアコーディオンのように外側に折れているのが風琴マチ。収容力に優れているお札に折り目が付きづらいという特徴があり、見た目もスマートです」

風琴マチの製作では、コマ数ミリ単位のずれが仕上がりを左右する。正確な裁断と緻密な加工が求められるため、熟練の職人のみができる高度な仕上げ方といえる。

「職人の腕がダイレクトに反映される技法だからこそ、看板としてふさわしいでしょう」

二宮五郎商店には、歴の長い職人がそろって、彼らの腕だけを頼りに製品を作っているわけではない。0.01ミリの単位で型紙を調整できるレーザー彫刻マシンをはじめ、職人技を支える最新の機械を導入している。

こうして最高の素材と熟練の技術、最新設備がそろっても、まだ理想とする製品にはならないという。「一番大事なのは、使い心地です。例えば財布なら、弊社の製品は横から見ると時に柔らかな曲線になっている、ふくよかな形をしています。これはお札やカードなど中身を入れたときにちょうどいいサイズに作ってあるから。小銭入れでも、小銭が入った状態でしっくりとくる位置にホックがついていて、閉めやすい構造をしています」

使い心地を知るため、二宮さんは必ず、新製品を半年以上は自分で使い、納得いかなければ販売しない。

株式会社二宮五郎商店

「革の街」として知られる墨田区で、極上の革製品を作り続けてきた、二宮五郎商店。2代目である二宮眞一さんは、伝統の工法や熟練の職人技を生かしつつ、最新の機械も導入し、「世界で一つだけ」の製品を送り出してきた。海外でも高く評価され、OEMの依頼も後を絶たぬ人気工房の、こだわりのものづくりに迫った。

インタビュー・文/國天俊治
写真/清水亮一

職人技と最新技術は土台にすぎない

「革は、生きています」

二宮眞一さんは、滑らかな黒革の表面をそつと撫でながら話す。「同じ革のはずなのに、時期により厚さや硬さ、手触り、オイルのりなどが違ってくるのです」

二宮さんの製品作りは、生きた

4年以上も使い込んで劣化などがないか確認し、ようやく販売を開始した製品もある。

「実用性」にこだわり続けるというところが、結局はお客様から「二宮五郎商店の品なら間違いないだろう」と言っていただけの信用を得るのだと考えています」

職人の心意気に応え妥協だけはしなかった

戦後の混乱の中、産声を上げた二宮五郎商店。本社を構えた墨田区は、明治以降に皮革産業が発展し、「革の街」と呼ばれている。もともとは革問屋としてスタートしたが、縁あって受注した大手時計メーカーのベルト製造から、加工業へと軸足を移していった。

二宮さんが会社を継いだきっかけ



二宮五郎商店は「Nino Works」として海外でも親しまれている。そのクオリティから、愛好家が多いブランドだ。

は、先代である父の体調不良だった。そして事業承継後1年も経たず父が逝去し、右も左も分らないまま必死にかじ取りを行った。

「当時は、母方の家業である和食店で働いていました。朝5時半に魚河岸へ行き、昼の仕込みが終わったら二宮五郎商店で仕事、夜は再び飲食店に戻る。毎日3時間ほどしか

私のこだわり

折り紙の技法を用いた「風琴マチ」。見た目だけでなく機能性にも優れるが、日本製品でも珍しくなっている高度な技術。



マチが外側に折り込まれている風琴マチは、お札などが引っかからず、出し入れもしやすい。内容量が増えても余計な厚みが出ないという特長も。

企業情報
商号 / 株式会社二宮五郎商店
創業 / 1946年
資本金 / 1,000万円
代表者 / 二宮眞一
事業内容 / 革製品の加工販売
所在地 / 東京都墨田区東向島3-30-8
URL / <https://www.ninoworks.com>



1.二宮五郎商店で働く職人の年齢は、20代から80代まで幅広い。「職人は自分で辞めない限り、やる気があればいつまででも働けるんです」と二宮さん。 2.型紙製作に使うレーザー彫刻マシン。最新技術で職人の手仕事を支えている。 3. コーヒーなどを持ち歩く際に使えるドリンクホルダー。挑戦的な製品は、店頭で顧客の目を引くのに最適なのだそう。

コロナ禍だからこそできることがある 技術をじっくり磨き、未来に備える

寝られない、忙しい日々でした」
ただ、二足のわらじでやっていけるほど、社長業は甘くはなかった。売り上げは低迷し、逃げ出したいほど苦しい時期が続く。そのとき、二宮さんを支えてくれたのは、共に働く職人たちだった。
「辛い時は、我が子を抱いて寝たらいい。きつと心が落ち着く」
そんな言葉をかけ、気を遣ってくれる彼らがいたからこそ、踏んばり続けることができた。
「職人さんの心意気に応えるべく、苦しくても製品に対する妥協だけはせず、必死に日々を過ごしてきました。気づけば少しずつ売り上げが増え、いつの間にか黒字になっていったという感覚です」

も販売されている。また、有名メーカーからのOEMの依頼も後を絶たない。このようなブランド力を持つためには、製品の質に加え継続的な情報発信が必要だと二宮さんは言う。「いくら製品に自信があっても、周りから評価されなければ意味がありません。技術やこだわり、見た目の美しさなど、魅力を外に発信し続けるのが大切だと思います。今の時代、SNSを利用すれば海外ともつながれます。広告費をかけるかはともかく、すぐできることは、すべてやるべきです」
現在のコロナ禍を、二宮さんは「じっくり技術を磨き、蓄える時期」と位置づけている。
「今注力しているのはサステナブル（持続可能）なものづくり。これからの社会では、地球環境にやさしい製品がより求められ、そこに付加価値が生まれると考えます。ですから、長く使えて廃棄時も環境に負荷の

ない製品の開発を進めています」
革は自然由来の植物性タンニンでなめし、埋めれば土に還るものを選ぶ。金具は修理しやすい設計にする。ファスナーは、見た目よりも強度を重視したものを採用して長く使えるように。このように、あらゆる製品を見つめ直し、総合的に取り組んでいる。
「地球環境を考えたものづくりは、これからの時代、作り手としての責任であると思います。ものづくりは、チャレンジの連続によってしか進化していきません。核となる伝統は継承しつつ、新たなチャレンジを続けていきたいです」

Specialist's rules - 視点の先に -

- 伝統は守りつつ、より良いものづくりのための最新設備は惜しまず導入する
- 時代の先を読んだものづくりで先手を打っていく
- 不可抗力の逆境は力を溜める機会と考え、自社でできることを探す

い ま、世の中が二極化していると感じます。このコロナ禍がまだまだ続きそうな最中、「感染拡大予防を厳しく徹底せよ」という意見にも頷けますし、「このまままだと経済が立ち行かなくなる」という意見ももっともだと思います。どちらの考え方も大切なものになあとしみじみ思うのですが、ネットでその二極化が促進されているような印象です。こんな時、「三方一両損」という落語を思い浮かべます。

「三方一両損」は、左官である金太郎が、3両という大金の入った財布を拾ったことから始まります。落とし主がはつきりしていたので、金太郎は、持ち主の木工・吉五郎に届けに行きますが、吉五郎は「いったん落とした以上、自分のものではない」と言って受け取りません。金太郎は金太郎で「どうしても受け取るべき」と言って一歩も引きません。結果、大岡越前守にお裁きを受けることとなりますが、大岡越前守は自らその金に1両を足して4両にし、2両ずつ両人に渡します。つまり、どちらかの言説に従えば3両もらえるはずだった両者の手には、2両、そして大岡越前守は1両払うということで、三方が一両ずつ損といついかなかで解決に至るといふ落語です。

イラスト：江口修平

最終回
【最終回】
「三方一両損」に学ぶ
第三の立場の大切さ

立川流真打
立川談慶

イラスト：江口修平

最終回
【最終回】
「三方一両損」に学ぶ
第三の立場の大切さ

立川流真打
立川談慶

イラスト：江口修平

「心を整えるマインドフルネス」
（社）マインドフルリーダーシップインスティテュート
代表理事 荻野淳也

「マインドフルネスが最高の人材とチームをつくる」
かんき出版
好評発売中

最終回
【最終回】
「三方一両損」に学ぶ
第三の立場の大切さ

立川流真打
立川談慶

イラスト：江口修平

「呼吸に集中」「体温に集中」

緊張しているか
リラックスしているか
感じる

心拍に集中

体の不調がないか
感じる

深呼吸で終える

イラスト：今井ヨージ

自己認識力を高めるボディスキャン

① 呼吸に集中

② 体温に集中

③ 緊張しているか
リラックスしているか
感じる

④ 心拍に集中

⑤ 体の不調がないか
感じる

深呼吸で終える

イラスト：今井ヨージ

目を閉じ、自分の「呼吸が浅いか深いか」、「体温が高いか低いか」、「体が緊張しているか、リラックスしているか。緊張していたらそれはどこか」、「心拍が遅いか速いか（感じ取れなくてもOK）」、「体の不調はないか」を順に確認。最後に、体の緊張や不調をリセットするイメージで深呼吸。

麻布十番
DUMBO Doughnuts & Coffee
ダンボドーナツアンドコーヒーあざぶじゅうばんでん

アーモンドキャラメル 390円(奥・税抜)、
フランボワーズ 360円(手前・税抜)

表面はサクサク、中はもっちり生地をグレーズで彩った、華やかなNYスタイルのドーナツが常時10種類以上そろそろ。一つひとつが満足感あるボリュームでありながら、甘すぎない味わいで幅広い客層に人気。

〒東京都港区麻布十番2-17-6 ☎03-6435-0176
営業時間 9:00~19:00 無休
都営大江戸線、東京メトロ南北線 麻布十番駅1番出口より徒歩1分

永田町
hocus pocus
ホーカスポカス

ドーナツ 1個390円(税抜)~

多彩な調理法と素材でつくる「ケーキのようなドーナツ」が話題の専門店。小麦粉不使用で健康志向のものや食感に工夫をこらしたものなど、バリエーション豊富な品ぞろえで、贈る相手に合わせて丁寧に選ぶことになる。

〒東京都千代田区平河町2-5-3 ☎03-6261-6816
営業時間 11:00~19:00(土・日曜、祝日は12:00~18:00)
無休 ☎東京メトロ半蔵門線、有楽町線、南北線 永田町駅4番出口より徒歩2分

これは助かる!

東京
おみやげセレクション

コロナ禍でなかなか将来が見えない昨今。そんななかだからこそ「穴から先を見通す」ドーナツで、縁起良く春を迎えたい。大人にもおすすめのドーナツ店を紹介します。

※上記では、通常時の営業時間、定休日のみを表示しています。営業時間短縮および年末年始や夏期などの臨時休業日につきましては、各店舗にお問い合わせください。

世界に誇る日本アニメを 地方創生の原動力に！ コンテンツの力で 優良企業を世に出したい



株式会社ひかりてらす

代表者 ● 山田裕介
所在地 ● 東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル 14階
TEL ● 03-4405-4456
URL ● <https://www.hikariterrace.co.jp>
<https://culcolle.online>

T.G.Focusでは登場企業を募集しています。希望される方は、企画部広報課までどうぞ。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

インタビュー・文/ 國天俊治 写真/ 清水亮一

有名コンテンツの力を 企業PRに活用し未来を拓く

日本のアニメが、世界で沸騰中だ。1億人以上ものユーザーを持つ動画配信サイトは、「アニメのメジャー化」を宣言。日本発のオリジナルアニメが世界各国に配信され、続々と人気トップ10入りを果たしている。

日本国内でも、テレビアニメの劇場版が歴代最高収益を更新。コロナ禍で苦しむ映画業界の明るい話題となった。

「以前はサブカルチャー扱いだったアニメが、文化のメインストリームに躍り出てきています。アニメは日本が世界に誇るコンテンツであり、その市場は今後も成長を続けるでしょう」

そう語るの、株式会社ひかりてらすの代表取締役、山田裕介さん。アニメ・漫画のキャラクターグッズのOEM製造や企画・開発といったコンテンツビジネスを手掛けるベンチャー企業を率い、忙

震災をきっかけに 地方公務員の道へ

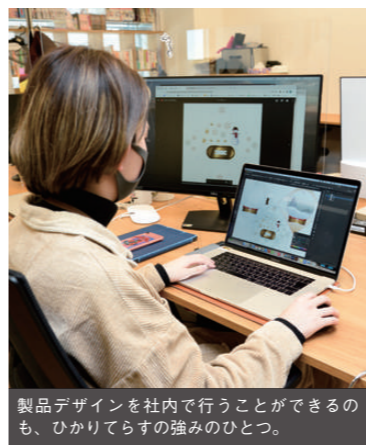
親戚筋などの関係もあって、もともとエンターテインメント業界に興味があったという山田さん。

大学卒業後は大手金融会社に就職したが、やはりエンターテインメント業界が諦めきれず、2年後に映像制作会社に転職した。

「日本のエンターテインメントをけん引してきた企業に入れて、運がよかったと思います。最先端の映像技術に触れ、良質なコンテンツ産業の知見を積むことができました」

念願の業界で働き、充実した日々を送っていたが、ひとつの出来事がきっかけで人生が一変した。

2011年、東日本大震災が発生。



日本中に爪痕を残した未曾有の災害は、山田さんの心にも影響を与えた。「もっと直接、人々の支えになるような仕事がしたい。そんな思いが強くなりました」

そんなタイミングで耳に入ったのが、親類のいる地方自治体の役所で職員を募っているという情報だった。山田さんはすぐに採用試験を受け、合格。移住を決意する。

「地方創生関係の職員として、地域の物産や観光のプロモーションを担当することになりました」

映像制作会社時代の経験を生かせる職場で、山田さんは実力を発揮。当時はまだ黎明期だった動画配信プラットフォーム「YouTube」や各種SNSを活用してPRを展開し、話題となった。

「SNSなどを使えば予算をかけずとも広告効果をあげられると示すことができました。ただ、PR動画が大きな反響を得たにもかかわらず、地域の实体经济への影響はほとんど見られなかったのです。いくら動画が再生されても、それをきっかけに地域に宿泊したり、特産品を買ってくれたりする人がでなければ、地域への恩恵は限られてしまいます。PR効果をいかに地域経済へと結びつけるか……。大きな壁に当たりました」

そうして試行錯誤しながら地域のPR活動を行うのに加え、山田さんがもうひとつ力を入れていたのが、企業の創業支援だった。

「地元では廃業する中小企業が年間相当数にのぼり、スーパーなど人々の生活を支える会社も減っていました。一方で起業はほんの数社にとどまっている。その現状をなんとか打破したいと、起業塾を立ち上げました。それで創業支援に携わる中で、起業について学べたのは大きなプラスでした」

このような活動を通じ、山田さんの中にひとつのビジョンが生まれた。

「自らの手で、地域にきちんとお金が落ちる実践的な地方創生をやりたい」

コロナ禍で生まれた事業が 会社の新たな柱に

その後、山田さんは公務員の職を辞し、ゲーム会社の経営企画部で、経営や事業計画について2年ほど学んだ後、2017年11月にひかりてらすを起業。山田さんがこれまでのキャリアで培った人脈やコンテンツ制作での知見を生かし、ひかりてらすは順調に業績を伸ばしてきたが……。

「コロナ禍でエンターテインメント業界全体が大きなダメージを受けました。大規模な夏のイベントをはじめ、あらゆるイベントがすべて中止となり、私たちの会社もグッズの販売ができずに決して少ない損失が出ました」

経営状況は一気に悪化。しかし山田さんは諦めずに、今自分ができることから新たな未来を模索し続けた。

そんな中、付き合いのあるアクリル工場の話が耳に入ってきた。「アクリル製のキーホルダーなどを作ってもらっていた会社でしたが、コロナ禍でこの先2カ月間仕事がなくなってしまう、工場のラインが空いていると聞きま

した」

空いたラインを利用し、アクリルを使って何か事業ができないものか。必死に考えた末、閃いた。

「パーティーションを作ってみよう」

今でこそ当たり前前に販売されている飛沫飛散防止のアクリル製のパーティーションだが、この頃はまだまだ誰も売りに出していなかった。さっそく自社で商品を企画し、メーカーとしてECサイトで販売を始めたところ、これが大ヒット。その他に、革靴メーカーとコラボレーションして作ったマスクケースなども売れ、経営を持ち直すことができた。

「今思えば、コロナ禍が始まったタイミングで最大の融資を受け、現金を手元に置いたのがよかったです。それで新たなアイデアを生み出すまでの猶予ができました」

こうしたコロナ関連グッズの製作販売は「YO-BOPROJECT」として現在も続けている。

一方で、アニメブームの追い風を受け、本業のコンテンツビジネスも再始動しているという。

「まずはキャラクターグッズのメーカーを目指し、ブランドがしっかり確立したら、コンテンツの力で地方創生に寄与したいと考えています。事業承継に悩む地方の工場を買って人気キャラクターグッズの生産設備を整えるなど、やりたいことがたくさんあります」

世界各国に広がるアニメ人気、日本の地方も元気にする——。山田さんの描くそんな未来は、きつとすぐそこまで来ている。



創業から3年、幅広い事業を展開するひかりてらす。山田さんは社員発案のプロジェクトも積極的に採用し、スピード感をもって実現に向け動かし続けた。

T.G. Information

東京信用保証協会の専門家派遣

専門家派遣

着実な経営改善を
外部の専門家とともに
サポートします。

費用負担
なし

例えばこのような悩みをお持ちの方

ホームページの集客力
を高めたい事業計画書
を作りたいマーケティングの強化
を図りたい人材の育成
を図りたい生産性を向上
させたい事業承継の進め方
がわからない

東京信用保証協会へのお申込後は、このような流れとなります

※カッコ内の回数は専門家の派遣回数を目安です。

1 専門家とともにイメージを具体化 コーディネートサポート (1～2回)

経営改善のポイントがどこにあるのか、専門家との対話を通じてイメージを具体化し、お客様に合った支援内容をコーディネートします。



以下 2 3 はご希望に応じて提供いたします。

2 課題を絞り込み解決を支援 ピンポイントサポート (3回)

新規顧客獲得、人材育成など、課題を絞り込み、解決を支援します。

……または…… 長期計画の策定を支援 トータルサポート (5回)

専門家が経営改善、事業承継などの中長期計画の策定をサポートします。

3 専門家によるアフターフォロー フォローアップサポート (1～2回)

各種サポートを利用された後も、希望されるお客様には、専門家によるアフターフォローを提供します。



※ ご利用には、当協会のご利用があるなど一定の条件がございます。内容によりお客さまのご希望に応じかねる場合もあります。

※ 専門家が行った診断・助言等につきましては、当協会では責任を負いかねますので予めご承知おき願います。

※ お客様からいただいた情報は、保証の申込および継続的な利用等に際し、利用させていただくことがあります。

お問い合わせ 東京信用保証協会 経営支援部 企業サポート推進チーム TEL: 03-3272-2357



二宮五郎商店の緊張感ある工房で(右)。ひかりてらすのアクリルスタンドと(上)。



取材現場におじゃまします！
まるガモ応援隊

良質な素材を生かし、熟練の職人が丹精を込めて秀逸な作品を世に送る。作品は経年で手になじみ愛着が増す。関わる人々をつなぐ、小道具「達は、見るたびに思い出を鮮明にしてくれます。(S) ひかりてらすでは、スタッフから出たアイデアを積極的に採用しているそうです。テレワーク環境も整備され、オフィスも都心の高層ビル内。イキイキと働いている皆さんの姿が印象的でした。(T)

編集
後記

●ご意見・ご感想は、以下までお寄せください。

東京信用保証協会 企画部広報課 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル3F TEL.03-3272-3089 (ダイヤルイン) ホームページ <https://www.cgc-tokyo.or.jp>

